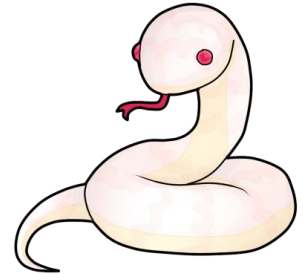


3学期が始まりました！

2025年がスタートして、2週間が過ぎました。昨年中は、金生第一小学校の教育活動にご理解とご協力をいただきまして、本当にありがとうございました。昨年は、パリオリンピック・パラリンピックが開催されたり、大リーグで大谷選手が2年連続のMVPに選ばれたりする中、新型コロナウイルス感染症による様々な制約も無くなり、元通りの活動が可能となりました。今後もより充実した教育活動が行えるよう、教職員一同努力してまいりますので、本年もよろしくお願いいたします。



さて、孔子の教えに「一年の計は元旦にあり」という言葉があります。また、類義語には「一日の計は晨にあり、一年の計は元旦にあり」（いちにちのけいはあしたにあり、いちねんのけいはがんたんにあり）という言葉もあるそうです。一日の計画は一日の初めの朝に立て、一年の計画は一年の初めの元日の朝（元旦）に立てるべきであるという意味です。これらの教えは、物事には周到的な準備と計画が必要なことを説いています。私もよく、元日の朝に「今年こそは・・・」と様々な計画を立てたことを覚えています。しかし、結果は計画の「計」だけに終わってしまい、何をやっても「三日坊主」、実行・実践が伴わないものとなっていたことを反省させられるばかりでした。



そんな私ですが、「一日の計は朝に・・・」の方なら出来そうかなと思い、いつの頃からかは忘れましたが、特に予定が多く忙しい一日になりそうな日には、朝食の食パンが焼き上がり、コーヒーが出来上がるまでの少しの時間を使って、その日のスケジュールを見ながら、留意点をスマートフォンのメモ帳アプリに入力するようになりました。朝起きて、しばらくたったわずかな時間（眠気がなくなってきたころ）ですが、余分なことを考えることなく、比較的クリアな思考力が働き、確認事項をメモすることができるのです。実際に一日がスタートし、それぞれの項目が確認出来たら消去していくことで、忙しい中でもスムーズに予定をこなしていくことができます。「一年の計は元旦にあり」を実践できることがベストだと思いますが、まずは「一日の計は朝にあり」からやってみるのもいいのではないのでしょうか。

三学期（1月15日現在）、子どもたちが登校してくる日数も46日（6年生は45日）となりました。自分の目標に向かって頑張っていけるよう、お家の方でもサポートや励ましをよろしくお願いいたします。